

研究課題名	臓器移植領域における免疫多様性解析の臨床応用に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	許可日 ~ 2025年 3月31日
対象者	広島大学病院移植外科にて臓器移植術の決定あるいはすでに実施した 20 歳以上の移植患者さんで、E2014-0921「臓器移植研究のためのデータベース登録」において同意が得られ採血が行われた患者さんを対象とします。
意義・目的	免疫系において主要なリンパ球である T 細胞と B 細胞は、抗原認識受容体である T 細胞受容体 (TCR) や B 細胞受容体 (BCR) を発現しています。これらの個々に異なる特異性を持った TCR/BCR によって特徴づけられたリンパ球のコレクションを TCR/BCR レパトアと呼び、レパトア解析は、抗原特異的免疫応答において T/B 細胞のドナー特異性や感染症等における抗原特異性を評価することが可能であり、移植領域において免疫抑制療法において重要な情報になることが予想されます。しかし、レパトア解析による免疫状態評価が臓器移植治療に与える効果についてはまだ解明されていません。今回、レパトア解析を臨床情報と比較することで術後免疫抑制療法との関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	すでに保存された血液（既存資料）を用いて免疫解析を実施します。また、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（肝機能検査、腎機能検査）です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	この研究における解析は、広島大学のほか、共同研究機関である Repertoire Genesis 株式会社においても実施されます。Repertoire Genesis 株式会社への提供は、対象者を識別できないように個人情報を加工した状態で郵送します。提供を開始する日は、広島大学における実施許可日（2020年5月28日）以降です。
研究組織	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 大段 秀樹 研究機関の長 広島大学理事 田中 純子 共同研究機関 ・全薬工業株式会社（奥垣内泉・酒井亜沙子） ・Repertoire Genesis 株式会社（中村征史）
その他	この研究は、全薬工業株式会社の共同研究費を用いて実施しています。なお、利害の衝突に関しては、本学の利益相反管理委員会で審査を受けています。
試料・情報の管理責任者	

広島大学 教授 大段 秀樹

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5222

広島大学病院消化器外科移植外科 職名 准教授 田中 友加